



2021年4月8日

各 位

会 社 名 株式会社オンワードホールディングス
代表者名 代表取締役社長 保元 道宣
(コード番号 8016 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役 財務・経理・IR担当 佐藤 修
(TEL. 03-4512-1030)

特別損失の計上及び通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は2021年2月期(2020年3月1日~2021年2月28日)において特別損失の計上を行うとともに、2020年10月9日に公表しました通期連結業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(関係会社株式売却損)

2020年12月11日に公表いたしました「連結子会社の異動(株式譲渡)に関するお知らせ」のとおり、オンワードラグジュアリーグループ S.p.A.の株式譲渡に伴い、関係会社株式売却損4,537百万円を特別損失として計上しました。

当該株式譲渡による影響は2022年2月期に計上予定としておりましたが、一部売却スキームの変更に伴い2021年2月期に計上することになりました。

また、他の関係会社株式売却損と含めた2021年2月期の関係会社株式売却損の計上額は、5,171百万円になります。

(減損損失)

当社の連結子会社の保有する店舗や施設等の固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来価値を検討した結果、固定資産の減損損失1,471百万円を特別損失として計上しました。

なお、2021年2月期第四半期累計期間までに既に計上している減損損失計上額を含めた2021年2月期の減損損失の計上額は、3,299百万円になります。

2. 通期連結業績予想値と実績値の差異について

(1) 2021年2月期連結業績予想値と実績値との差異(2020年3月1日～2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	187,500	△8,945	△8,450	△8,560	△63.27
実績値(B)	174,323	△21,230	△20,174	△23,181	△171.18
増減額(B-A)	△13,177	△12,285	△11,724	△14,621	—
増減率(%)	△7.0	—	—	—	—
※(ご参考)前期実績(2020年2月期)	248,233	△3,061	△3,835	△52,135	△383.97

(2) 差異の理由

当連結会計年度の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う本年初の首都圏などにおける緊急事態宣言の再発令や、海外におけるロックダウンの長期化に起因して、大都市圏を中心に立地するリアル店舗の大幅な減収や、欧州を中心とした海外の店舗閉鎖の影響などにより、売上高が業績予想を下回りました。

また、売上高の低下に伴う売上総利益の減少に加え、クリアランスセール・催事の休止や、ブランド廃止などの一時的な要因により期末棚卸評価損が増加したことで売上総利益率が低下し、営業利益、経常利益が業績予想を下回る結果となりました。

さらに、上記「1. 特別損失の計上について」に記載した関係会社株式売却損を当期の特別損失に計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益についても業績予想を下回る結果となりました。

以上